

登録コード	E7100100	開講年度	2026				
授業科目	現代教育入門					担当教員	水口 崇 他
英文授業名	Introduction to Frontiers of Educatio					副担当	徳井 厚子
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・4時限	対象学生	
講義室	共通教育54講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目	
						備考	
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔		
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、芸術文化、環境共生、多文化協働、健康長寿、防災減災、キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	現代教育コースは、4つのユニットがある。それらは、①教育実践科学ユニット、②異文化間教育ユニット、③ICT活用教育ユニット、④発達・教育心理ユニットである。これらのユニットの教員が、それぞれの専門手的見地から、現代の教育の問題について講義する。						
(5)授業計画	第1回：ガイダンス（水口・徳井） 第2回：異文化間教育1：異文化間教育（徳井） 第3回：異文化間教育2：異文化間コミュニケーション（小池） 第4回：コース内免許説明会・教員免許取得に向けて（水口・徳井） 第5回：発達・教育心理1：心理学とは？（田中） 第6回：発達・教育心理2：発達心理学の基礎（水口） 第7回：発達・教育心理3：心理学と学校（島田） 第8回：発達・教育心理4：チーム学校について（鈴木） 第9回：教育実践科学1：社会システムと学校（越智） 第10回：教育実践科学2：教育を哲学する（高柳） 第11回：教育実践科学3：キャリア教育を考える（安達） 第12回：ICT活用教育1：ICT活用の一斉学習（森下） 第13回：ICT活用教育2：ICT活用の個別・協働学習（佐藤） 第14回：リフレクション（水口）【授業アンケートの実施】						
(6)成績評価の方法	授業中の小レポートにより、みずからが考え、自己啓発に努めることができるかをはかる（40%）。 学期末の中レポートにより、授業を通して考えたこと、気づいたことについて問う（60%） 得点率による評価基準は次のとおりとする。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの内容が書かれていれば「水準にある」、より高いレベルの内容が書かれていれば「かなり上にある」、やや高度なレベルの内容が書かれていれば「やや上にある」、非常に高度なレベルの内容が書かれていれば「卓越している」。						
(8)事前事後学習の内容	毎回の授業時に指示される課題内容について、当該テーマの研究の背景や関連する事柄の調査、授業で学んだ内容を拡張する目的で、さらに広く深く文献研究を行うなど、事前・事後の取り組みを行い授業に臨むこと。						
(9)履修上の注意	取り扱った内容のみでなく、予習や復習によって知識や見解を広げ、現代の教育問題について深く理解すること。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	mizutaka@shinshu-u.ac.jp （水口崇） tokuias@shinshu-u.ac.jp （徳井厚子）						
【教科書】	特に無し						
【参考文献】	適宜紹介する						